



学校教育目標

基本目標 確かな学力と豊かな心を有し、心身ともに健康で、自己実現を目指す生徒を育成する
生徒像 自ら考える生徒（知育） 心の豊かな生徒（徳育） たくましい生徒（体育）



学校経営方針【基本方針】

夢や高い志をもって自分自身を高めようとし、地域や社会に関心をもちながら、自分のできることで他の人や社会に貢献しようとする生徒を育成する

主体的に学び、互いに高め合って学びを深める生徒

自分自身も他の人も大切にし、社会に貢献する気持ちをもつ生徒

心身ともに健康でたくましい生徒

学力の向上

- (1) 学習意欲を高め、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る
授業の充実
 - 一人一人の実態に応じた支援を充実する
 - 単位時間または単元・題材のねらいを明確に提示する
 - タブレットの効果的な活用法を研究し、ICT 機器等を活用した授業を展開する
- (2) キャリア教育の充実
 - 全ての教科、領域の指導にキャリア教育の視点を取り入れる
 - 基礎的・汎用的能力の育成を図る

基礎的・汎用的能力

- ①人間関係形成・社会形成能力
- ②自己理解・自己管理能力
- ③課題対応力
- ④キャリアプランニング能力



人間力の向上

- (1) 組織的、継続的な生徒指導の充実
 - 教師が自ら率先垂範、師弟同行の姿勢で指導にあたる
 - いじめアンケートや生活記録、観察、家庭や各職員からの情報などを通して、多面的な生徒理解を図り、問題行動等の未然防止と早期発見・早期解消を目指す
- (2) 生徒の自発的・自治的な活動の推進
 - 生徒相互に讃え合い、自己有用感が高まる活動を積極的に取り入れる
 - 生徒を褒める場面を意図的に仕掛け、自己肯定感が高まるスパイラルを形成する
- (3) 特別活動の充実による学級・学校づくり
 - 学級活動の時間の充実を通して、互いを認め合える人間関係づくりを目指す
 - 専門委員会の活動を見直したり、複数の委員会が連携した取組を展開したりする



健康力の向上

- (1) 健康安全教育の充実
 - カウンセリング、保健指導等による心身の健康の保持を図る
 - 定期健康診断の事後措置を徹底する
 - 安全な自転車通学の体制づくりを進める
→安全マップ、安全指導、自転車点検 等
- (2) 適正な部活動の推進
 - 「七中部活動指針」に基づき計画的な指導を展開し、部活動の目的達成に努める
 - 保護者と十分な連携を図り、理解・協力を得つつ部活動を運営する



組織力・連携力の向上

- (1) 開かれた信頼される学校づくりの推進
 - 各種通信や学校HPを通して、学校の教育方針や様子などを積極的に発信する
 - 各学年において地域との新たな繋がりを模索する
→地域に任せる・預ける
- (2) 学校経営への参画意識の向上と協働態勢の確立
 - 報告・連絡・相談を大切に、周囲の職員と連携協力して業務を進める
 - 業務改善や勤務の適正化に向けて、学校組織の改善、職員の意識改革を図る
- (3) 危機管理意識の向上と危機管理体制の整備
 - 「もしかしたら」の発想、「初期対応がすべてを決める」の意識をもち、リスクを未然に防ぎ最小限にとどめるように教育活動を進める
 - 保護者や地域からのご意見には、素早く誠実に対応する